資料1－2

重点戦略「子どもと楽しむまち」の概要

人口減少の克服

実現

重点戦略

『子どもと楽しむまち』

実現　実現

『ひと』の創生

子どもと住みたくなるまち

本市で子どもと一緒に暮らすことの魅力や憧れを高めることで若い世代の居住者増加を図る。

- 〇移住希望者への情報提供の強化
- 〇二地域居住や住み替えの支援
- 〇広域連携による結婚希望者等への支援
- 〇多子世帯への支援の充実
- 〇子育て世代の経済的負担の軽減
- 〇確かな学力の育成

子どもと訪れたくなるまち

本市でしか味わえない、子どもが喜び、親として子どもに伝えたい体験やおもてなしを充実することにより、親子連れの交流人口増加を図る。

- 〇世界遺産を活用したまちづくり
- 〇観光地域づくりの推進
- 〇文化交流の推進

好循環　好循環

『しごと』の創生

若い世代が安心して働くことが出来る雇用の創出を図る。

- 〇包括的創業支援
- 〇企業誘致の推進
- 〇サービス産業の付加価値向上支援
- 〇農林水産業の成長産業化
- 〇若者の人材育成・就職支援
- 〇産業界と学生のマッチング支援

好循環の支え

『まち』の創生

「しごと」と「ひと」の好循環の舞台となる、まちの基盤整備や活性化を図る。

- 〇都市のコンパクト化
- 〇交通ネットワーク
- 〇荒尾競馬場跡地活用を通じた中心拠点の形成
- 〇多世代交流・多機能型の拠点の再生
- 〇空き家対策の推進
- 〇中核病院「荒尾市民病院」の新病院建設